

(報告) 介護の日 講演会



▲「たすけ愛京築」阿部かおりさん



▲「あおぞら胃腸科」笠原健太郎さん

11月29日、るり色ふるさと館で、特定非営利活動法人「たすけ愛 京築」統括理事 阿部かおりさんと医療法人あおぞら胃腸科院長 笠原健太郎さんを講師としてお迎えし、「いのちの授業」～住み慣れた場所・地域で穏やかに暮らせるために～と題して講演会を行いました。

阿部さんからは地域のつながりの大切さについて、笠原さんからは最期まで自分らしく生きることの難しさ、すばらしさについてお話ししていただきました。

人は、年齢を重ねることにより、一人だけの力ではできないことが増えていきます。そうなったときに「したいこと」を「なじみ」の環境で続けることができるように、その人が主体的に生活できるよう支援することが自立支援となります。住み慣れた地域・家にはその人が生活している証があります。そんな環境の中で、自分らしく生活するために介護保険や医療保険などの公的サービスや、地域でのボランティア、家族や友人などの支援が必要です。だからこそ、日頃から人とのつながりをつくり、そのつながりを大切にすることが重要であると、改めて再確認することができました。

●問合せ

保健課 介護高齢者支援係 Tel.75-4960

(報告) みんなで築こう人権の一年 「人権フェスティバル」



12月8日、白壁ホール及びるり色ふるさと館で、うきは市人権フェスティバルが開催されました。るり色ふるさと館では、市内小中学生や人権擁護委員による人権に関する展示や福祉施設・作業所等による販売が行われ、白壁ホールでは講演会と小中学生による人権学習の発表等が行われました。

今年も差別のない人権が尊重される社会の実現において、さまざまな機会を通じて人権についての理解を深めていきましょう。



スマイリーキクチさん (タレント)

講演 「インターネットに潜む危険なワナ

～加害者や被害者にならないためにすること～

スマイリーキクチさんは、平成5年にお笑いコンビを結成し芸能界にデビューされました。活動を続けている中、知らないうちにインターネット上で事件の犯人の一人として扱われており、約10年間も中傷被害にあう経験をされました。経験を通して、インターネットの特性や、加害者・被害者にならないために注意すること等をご講演いただきました。また、講演の中で「言葉は人を傷つけてしまう場合があるが、人を励ましたり元気づけたりすることもできる。使い次第で変わる。」と話されました。



▲人権に関する展示



▲山春小学校
パラリンピック
についての発表



▲福富小学校
児童会の取組発表



▲吉井中学生3名による
人権作文の発表



全日本空手道選手権大会へ出場

昨年11月に開催された「POINT&KO全九州空手道選手権大会」で、小河歩さん（中央左）は準優勝（小学5年生女子の部）、江藤早紀（中央右）さんは3位（小学生2年女子の部）の成績をおさめ、3月に東京で開催される「全日本空手道選手権大会」へ出場することを、11月29日に市長を訪れ報告がなされました。（写真左：所属の空手道場・神武会 佐藤代表）



大石地区かわまちづくり社会実験イベント

12月7～8日、大石分水路でかわまちづくり社会づくり社会実験イベント（大石かわまちづくり協議会主催）が行われました。かわまちづくりとは、河川空間とまち空間が融合した良質な空間形成を目指すまちづくりで、音楽イベントや飲食店の出店、出張遊園地やラグビー体験などが行われました。



はなうた うきはオーガニックマーケット

うきは市周辺で無農薬や減農薬で生産された野菜、果物、無添加の加工品やオーガニック雑貨などを取り扱う店舗等による「はなうた うきはオーガニックマーケット」が11月24日に市役所西別館西側のゲートボール場で開催されました。約30店舗が集まり、訪れた多くのお客さんで盛りあがりました。



未来につながる防災イベント

11月24日かわせみホール前駐車場で、一般社団法人浮羽青年会議所が主催の「防災イベント」が開催されました。警察・消防・自衛隊の車両展示や自衛隊ヘリによる救助訓練展示、避難所体験、土のう作り体験などが行われました。（写真：消防署のはしご車への乗車体験）

～ 浮羽工業製作ブックエンドについて～

市では、すべての子どもがあらゆる機会と場所で、自主的に読書活動ができるように環境を整備し、子どもの読書活動を推進するための「うきは市子どもの読書活動推進計画」を策定しています。平成30年4月に前計画を継承、発展させた第2次うきは市子どもの読書活動推進計画へと改訂し、新規に「おうち図書館※」を推進していくことをもりこみました。

この「おうち図書館」を推進するために、福岡県立浮羽工業高等学校建築科に製作を依頼していたブックエンドを、10月29日に、市立図書館で生徒の皆さんから納品していただきました。このブックエンドは生徒さんが思いを込めて一つ一つ手作業で製作してくださいました。

1月20日(月)実施の10か月児健診対象者から、ブックスタートの絵本と併せてお渡しを予定しています。ぜひ、読書を通じて親子でのコミュニケーションをとってください。



※うきは市立図書館ではひとり10冊まで貸し出しができるため、借りてきた本を図書館のように並べて、おうちで読書をいつでもできるよう習慣づけようという読書運動の一貫。

●問合せ うきは市立図書館 TEL77-3050